

質疑・質問

山本 光明 議員



(二括質問方式)

- ① 予算と決算
- ② 大洲市公共施設等管理計画 (素案)
- ③ 過疎化対策
- ④ 公共事業
- ⑤ 農林行政
- ⑥ 教育行政
- ⑦ 病院事業

過疎化対策について

問 少子・高齢化に起因する人口の減少は著しく、特に中山間

地域では過疎化が進み、限界集落がふえている。そのような中、運転免許証を持っていても高齢のため返納を余儀なくされ、交通手段もなく生活自体が脅かされている方が多くなっている。市としては、買い物弱者に対し、宅配業者などへの要請や地域自治会における見守り隊の結成を促すなど、いろいろな知恵と組織を総動員して対策を講じていくべきだと考えるが、そのお考えをお聞きます。

答 過疎化による身近な課題を解決していくためには、実情をよく把握されている地域住民の皆様が主体となって取り組みを進め、行政がその取り組みを支援する制度づくりや情報提供などのお手伝いをさせていただく形が理想であると考えています。

公共事業について

問 公共事業は年々減少傾向となっていて、多くの雇用を生み出し、生活を支える地域活力のみなもとでもある。しかし、年間の予算は決まっても、人事異動の時期とも重なり発注はおくれぎみで、土木業者は4月から7月ごろまでは仕事が全くないところもある。そこで、一年を通した施工

時期の平準化と臨機応変な対策を講じることはできないのか。

答 公共工事における発注時期と施工時期の平準化は、円滑な施工により成果の品質確保が図れるばかりではなく、年間を通しての工事が安定することにより、企業経営の健全化や労働者の処遇改善にも寄与するものと考えています。そのため、本市においては、年度当初の速やかな発注及び債務負担行為を活用し、工期集中の是正を図る取り組みを推進しているところですが、また、現場等の状況によっては、工期の分散と第1四半期の工事量の確保を図るなどの対応に努めています。

今後は、さらに適正な工期の確保に留意するとともに、発注時期と施工時期の平準化を図るため、全庁的に実効性のある取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。

教育行政について

問 現在、公立幼稚園における園児数はおおむね定員割れとなっている。これは、公立幼稚園における園児の預かり時間は午後2時までとなっているため、共稼ぎの家庭が幼稚園を選択できない

ことが大きな要因であると思われる。

そこで、公立幼稚園において、通常の教育時間が終了した後に一時預かりを実施すれば、今まで幼稚園に預けることができなかった園児を預けることができ、ひいては小中一貫教育とあわせて地域の教育力の向上につながるものと考えているが、このことについての見解を伺う。

答 一時預かり事業の実施を検討するに当たり、アンケート調査を実施したところ、一時預かりの要望が強いことがわかりました。この結果を踏まえ、事業計画を前倒しし、平成29年度から久米、平野、河辺の3幼稚園で一時預かり事業を実施したいと考えています。御利用いただける時間は午後6時まで、夏休み等の長期休業期間については、午前8時から午後6時まで受け入れることとして、現在来年度の入園募集を行っているところです。

